



第二団地北側道路から東側方向を見た写真
(昭和40年代前半ごろ)

第二団地北側の通りから、川角小学校方面を写した写真です。ちょうど第二団地の造成が始まったころの写真で、まだ、住宅もまばらで長閑な農村風景が広がっています。数年後の昭和47年には、写真右側の第二団地には、びっしりと建物が建ち並びました。

現在の風景



徒然歳時記

ちまき



「柱のきずはおとしの五月五日の背くらべ…」で始まる童謡「背くらべ」(海野厚 作詞)は、「ちまき食べ食べ兄さんが、はかってくれた背のたけ…」と続きます。

漢字で「粽」と書く「ちまき」は、五月五日の端午の節句に食べる節句餅。茅や笹の葉で、米や餅を円錐形にして巻き、藺草でしばって、煮たり蒸したりします。茅で巻くところから「ちまき」と呼ばれました。

五月五日にちまきを食べる風習は中国伝来で、戦国時代の楚の人「屈原」にちなむものです。王族出身の屈原は、楚の懷王に信任されましたが、ねたまれて江南地方に流され、痛憤のあまり湖南省北東部の川、汨羅に身を投げました。屈原の姉が、五月五日の忌日に竹筒に米を詰めて水に投じたのが、ちまきの起源とされています。端午の節句餅としては、江戸中期からちまきのほかに柏餅が登場し、今では柏餅のほうが優勢です。ちまきは中華料理の「ちまきおこわ」として、いつでも食べられるものになりました。

5月はお出かけに最適な季節です。町内には新緑がきれいな場所がたくさんあります。ちまきや柏餅をおやつ代わりに持って、鎌北湖や宿谷の滝、桂木観音などにハイキングに出かけてみるのもいいかもしれませんね。

わがやのアイドル



白石 あおいちゃん

(2歳5か月)

毎日大好きなしまじろうのDVDを観ながら、歌ったり踊ったりしています。最近ではいっぱい「おしゃべり」もできるようになりました。時々お友だちとも遊んでいます!!



杉田 はなえちゃん

(3歳7か月)

ひろたろう

広太郎くん

(3か月)

今年1月に待望の弟が誕生し、花英はすっかりお姉ちゃんになりました。あまりの溺愛ぶりに、ゆっくり寝てられない広太郎です。